

令和2年度鹿児島県図書館大会

第9分科会 幼稚園・保育園部会「就学前の読書活動の推進」
さみどり幼稚園の取り組みについて

1. 本園の概要

- (1) 幼稚園名 さみどり幼稚園
 (2) 所在地 鹿児島市薬師一丁目4番12号
 (3) 創立年月日 昭和22年(1947年)6月3日
 (4) 設置者 学校法人さみどり学園
 (5) 理事長 新川 靖博
 (6) 園長 原口 熙
 (7) 園児数・教職員数(令和2年11月1日現在)

年齢別	園児数			教職員数					
	男	女	計	学級担任	副担任	事務養護	主任	園長	計
満3歳到達児等	24	26	50	2	4	2 (1)	1	1	
3歳児	44	34	78	3	3				
4歳児	41	36	77	3	2				
5歳児	41	46	87	3	2				
計	150	142	292	11	11	2	1	1	26

本園は今年創立74年を迎えた学校法人の幼稚園である。近くには西田小学校、城西中学校、鶴丸高校や鹿児島高校などがあり文教地区と称される豊かな環境の中に位置している。

2. 教育目標

「いきいきとすこやかな体と のびのびと広い心を持ち 自分でよく考え
自分から進んで行動しようとする 子どもを育てる」

3. 読書指導

幼稚園教育の5領域の一つである「言葉」の領域での読書活動については、各年齢ごとに教育課程を作成し、日々教育にあたっている。

- (1) 満3歳到達児 ○絵本に親しみ、興味を持って聞く。
 (2) 年少(3歳児) ○絵本や物語に興味を持って親しみ、豊かに想像する。
 (3) 年中(4歳児) ○絵本や物語に親しみ、話の筋や表現の面白さに興味を持ち、豊かに想像する。
 (4) 年長(5歳児) ○絵本や物語の内容を豊かに想像し、話の筋や表現の面白さ、言葉の美しさなどに気付く。

4. 日課表に位置付けた読み聞かせの取り組み 「『一日一話』の時間」

- ・ 13時10分～13時30分までの20分間を「一日一話」の時間として幼稚園生活の中で位置付け、読書への興味・関心を高めさせる。
- ・ 活動内容としては、絵本や紙芝居、エプロンシアター等を用いての読み聞かせや、民話等の語り聞かせを行う。
- ・ 終礼時に翌日の読み聞かせをする題材、ねらい、内容を確認し合い、教師の意識を高める。

5. その他の読み聞かせの実態

(1) 「子ども読書の日」の集会

- ・ 園全体で集まり、この集会の意義を子どもたちに伝える。
- ・ 昔から語り継がれている物語を、ペープサート等で読み聞かせをする。

(2) 「楽しいお話」の集会

- ・ 外部の講師を招聘し、読み聞かせや語り聞かせをしてもらう。
- ・ 鹿児島県童話会の先生を招聘し、鹿児島に昔から伝わる民話等を鹿児島の方言で話してもらう。
- ・ 人形劇団を園に招き、プロの観劇を直接鑑賞させる。

(3) P T A主催の読み聞かせ会

- ・ 年2回、各組の保護者5～6人が各教室で読み聞かせをする。

6. 園内の絵本室「ぞうさん文庫」の貸し出し

- ・ 自宅で読み聞かせをしてもらうために絵本の貸し出しを行う。(親子)
- ・ 年長児は読みたい絵本を自分で選び、借りて帰る。

7. 読み聞かせを通しての子どもたちの姿

- ・ 文字に対しての興味、関心が高まってきた。
- ・ 本好きの子どもが増え、語彙数や表現力が豊かになってきた。

8. 教師の役割について

- ・ 感じる心や豊かな心
- ・ 豊富な語彙数
- ・ コミュニケーション能力

9. 読み聞かせ活動の課題等

- ・ 子どもたちへの読み聞かせ指導法のスキルアップ
- ・ 保護者の読み聞かせサークルの再結成